

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	日常生活動作学	授業形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月曜・1限
担当教員	伊藤 大貴				
授業概要	日常生活動作(ADL)の支援は作業療法士が対象とする作業の中でも余暇や生産活動と並んで、非常に重要な部分です。どれだけ趣味ができて、常に身の回りの事を助けてもらっては、本人並びに介護する人々が十分に満足のいくリハビリテーションとはなりません。その為、各疾患のADL支援を理解し実践できるようになることが重要です。本講義ではそれらについて演習も踏まえながら進めていきます。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 各疾患の特徴を理解し、自身の言葉で簡単に説明できる 作業療法士がおこなう評価を実践できる 各疾患特性に応じたADL支援を実践できる 				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション 脊髄損傷四肢麻痺 疾患・機能障害の概要 P96～103				伊藤 大貴
2回目	脊髄損傷四肢麻痺 起居・移乗・移動① P104～119				伊藤 大貴
3回目	脊髄損傷四肢麻痺 起居・移乗・移動② P120～134				伊藤 大貴
4回目	脊髄損傷四肢麻痺 食事 排泄 更衣 P135～146				伊藤 大貴
5回目	脊髄損傷四肢麻痺 整容 入浴 スイッチ操作 P147～154				伊藤 大貴
6回目	脊髄損傷四肢麻痺 住宅改修 自動車 P155～P159				伊藤 大貴
7回目	脊髄損傷対麻痺 疾患・機能障害の概要とADL① P160～P173				伊藤 大貴
8回目	脊髄損傷対麻痺 疾患・機能障害の概要とADL② P160～P173				伊藤 大貴
			※単元テスト		
9回目	パーキンソン病の概要とADL支援 P174～192				伊藤 大貴
10回目	脳性麻痺の概要とADL支援 P221～233				伊藤 大貴
11回目	脊椎疾患の概要とADL支援 P234～244				伊藤 大貴
12回目	呼吸器疾患・心疾患の概要とADL支援 P244～271				伊藤 大貴
13回目	人工関節置換術の概要と支援(基本動作) P286～292				伊藤 大貴
14回目	人工関節置換術(ADL動作)・下肢骨折の概要とADL支援 P293～300				伊藤 大貴
15回目	まとめ				伊藤 大貴
教科書及び参考書	テキスト① PT・OTビジュアルテキストADL 第2版 羊土社				
成績評価	<p>単元テスト(40%) 期末試験(60%) 欠席は3点、遅刻は1点減点 1回目～7回目までを単元テストで出題します。単元テストは再試をいたしません。本試で高得点を取れるよう事前準備しましょう。期末テストは全範囲ですが、単元テストと授業内でポイントとして伝えた部分を中心に 出題する予定です。多数の疾患に対するADL支援方法を学びます。そのため、授業内で理解しきれない部分は授業外でも質問や相談をしてください。分からないことをそのままにせず、その日のうちに理解できるように行動しましょう。</p>				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>予習ではシラバスで指定した範囲の教科書を事前に読み、自身で重要だと思った部分にアンダーラインを引いてください。その後、授業でアンダーラインを引くよう指示された部分と整合性を確かめることで、効率よく知識として定着します。復習では、各疾患の学習ポイントについて自身の言葉でまとめる事や、授業内でアンダーラインを引いたり、空欄補充を行った部分を中心に見直すの良いです。</p> <p>臨床実習においては、各疾患の評価をおこない、機能に合わせたADL支援をおこなう技術は必須です。この授業を通して疾患別ADLに関する技術を獲得し、自信を持って臨床実習に望めるように精進しましょう。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業療法評価法Ⅱ(精神障害)	授業形態	講義 演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月曜・2・3限
担当教員	中村 千紘				
授業概要	精神障害領域における作業療法評価手法を学び、実施し、レポート表記する能力を身につける講義です。臨床実習において精神評価を実施できるよう本講義の中では評価実技の演習を行います。また、実施した内容をレポートにまとめて伝えることができるように授業を行います。				
学習目標	① 精神科作業療法の流れについて説明できる。 ② 精神疾患の評価項目と評価する内容について説明できる。 ③ 精神評価を実施できるようになる。 ④ 評価実技で実施した内容をレポートにまとめることができる。				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション 精神科作業療法の評価の流れと評価手段(①P.90-98)				中村 千紘
2回目	作業療法評価 観察 ウォッチング(観察)リストを用いた評価(①P96-97)				中村 千紘
3回目	作業療法評価 面接技法: インテーク面接(①P99-104)				中村 千紘
4回目	作業療法評価 面接技法:情報収集面接(①P.99-104)				中村 千紘
5回目	作業療法評価 興味・関心チェックシート(①P107-111)				中村 千紘
6回目	作業療法評価 気分と疲労のチェックリスト(SMSF)				中村 千紘
7回目	作業療法評価 入院生活チェックリスト(ISDA)				中村 千紘
8回目	作業療法評価 初回アセスメント(実技)				中村 千紘
9回目	作業療法評価 精神障害者ケアアセスメント				中村 千紘
10回目	作業療法評価 精神障害者ケアアセスメント(実技)				中村 千紘
11回目	作業療法評価 日本語版BPRS評価について				中村 千紘
12回目	作業療法評価 日本語版BPRS評価(実技)				中村 千紘
13回目	作業療法評価 認知機能評価(BACS-J)について				中村 千紘
14回目	作業療法評価 認知機能評価(BACS-J)(実技)				中村 千紘
15回目	作業療法評価 うつの評価(SDS、BDI-II)				中村 千紘
16回目	作業療法評価 Rehab、GAF評価(①P124)				中村 千紘
17回目	作業療法評価 作業遂行特性評価表				中村 千紘
18回目	作業療法評価 対人パターンチェックリスト、社会交流技能評価(KISS-18)				中村 千紘
19回目	作業療法評価 活動(日常生活)機能観察リスト、行動評価(①P116-118)				中村 千紘
20回目	作業療法評価 作業面接:箱作り法について				中村 千紘
21回目	作業療法評価 箱作り法(実技)①				中村 千紘
22回目	作業療法評価 箱作り法(実技)②				中村 千紘
23回目	作業療法評価(実技課題):箱作り法についてレポート作成①(課題①)				中村 千紘
24回目	作業療法評価 アジマバッテリーについて				中村 千紘
25回目	作業療法評価 アジマバッテリー(実技)①				中村 千紘
26回目	作業療法評価 アジマバッテリー(実技)②				中村 千紘
27回目	作業療法評価(実技課題):アジマバッテリーについてレポート作成①(課題②)				中村 千紘
28回目	実技課題 レポート作成及び提出				中村 千紘
29回目	作業療法実施計画 個人プログラムの作成				中村 千紘
30回目	作業療法評価 評価の流れと実施計画についてのまとめ				中村 千紘
教科書及び参考書	① 作業療法ゴールドマスターテキスト 精神障害作業療法学 第3版/メジカルビュー ② 精神医学テキスト(改訂第4版)精神障害の理解と治療のために/南江堂				
成績評価	レポート課題40%(20%×2回)、期末試験60% 欠席は3点、遅刻は1点減点とする				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>精神科作業療法士がその人となり評価するために用いる評価方法を学ぶ講義となります。また、実施した評価結果をレポートに明記することで、カルテの書き方も学びます。評価用紙は、精神科の実習においてすぐに用いることができるように原本をファイリングするようにしてください。見学実習においても実習事前指導でも用いますので、他者に説明できるレベルでの習得を目指しましょう。</p> <p>レポート課題での不明点は各自アポイントをとって相談にきて、対象者理解を進めていきましょう。</p>					

ソーシャルワークの理論と方法 I (3390)		大兼健寛		併修科目・必修	
				PT・OT2年	
				月曜4限	
授業のねらい	本科目では、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアントシステムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。特に、ソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス(相談援助の展開過程)を軸に、「人と環境との交互作用」という視点について理解を深めることを最重要とする。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1 (ポイント)	ソーシャルワークにおける、人と環境との交互作用に関する視点と理論について述べよ。 ソーシャルワークにおいて、人と環境との交互作用に関する視点がどのように位置づけられているのかを理解し、ソーシャルワーク実践の目的と特徴を説明することが求められる。	清書	10月23日(月)授業内	
	レポート 2 (ポイント)	ソーシャルワークの展開過程と各段階の特徴、ソーシャルワーカーの役割について述べよ。 ソーシャルワークの展開過程について、一連の流れを把握し、ソーシャルワークの方法・技術を理解することが必要である。そしてソーシャルワークの価値に基づく実践として、ソーシャルワーク専門職の果たすべき役割を考察すること。	清書	12月4日(月)授業内	
	科目終了試験	学修のポイント・2 ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて、それぞれの考え方と方法、特徴について 学修のポイント・3 ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について 学修のポイント・6 ソーシャルワークにおけるスーパービジョンの意義と目的、課題について	科目終了試験12月20日(木)実施予定		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	オリエンテーション、クライアント「システム」という考え方				
2	「人と環境との交互作用」の視点について①				
3	「人と環境との交互作用」の視点について②				
4	清書レポート作成①				
5	学修のポイント・2 ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて				
6	1250字レポート作成&提出締切				
7	ソーシャルワークの展開過程の復習				
8	展開過程各段階の特徴とソーシャルワーカーの役割①				
9	展開過程各段階の特徴とソーシャルワーカーの役割②&清書レポート作成②				
10	学修のポイント・3 ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術&1250字レポート作成&締切				
11	学修のポイント・6 ソーシャルワークにおけるスーパービジョンの意義と目的について				
12	1250字レポート作成&提出締切				
13	エコロジカルとエコシステム				
14	科目終了試験対策				
15	「ソーシャルワークの基盤と専門職(3370)」科目終了試験(持ち込み不可)				
期末試験					
成績評価	出席率	30点 80%以上、出席すること。欠席1回は-10点、遅刻1回は-3点			
	期末試験	50点 論述式、持ち込み可			
	授業内評価	20点 レポート・1250字レポートの提出状況・内容、授業態度を考慮して評価する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回るとことになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

ソーシャルワーク演習Ⅱ(3232)		大兼健寛		併修科目・必修	
				PT・OT2年	
				火曜1限	
授業のねらい	ソーシャルワーク演習Ⅱは「ソーシャルワークの展開過程」という位置づけとなり、ソーシャルワーク演習Ⅰで学習したクライアントシステムに関する理解を踏まえて、ソーシャルワーク・プロセスの展開とプロセスにおいて活用される面接やプログラム分析、アウトリーチやチームアプローチといった技術について学修する。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	1 ソーシャルワーク実践における展開過程について述べよ。	清書	10月30日(火)授業内	
	(ポイント)	ケースワーク、グループワーク、コミュニティワーク、それぞれの展開過程について整理し、求められる技術や知識について整理する。			
	レポート 2		清書		
	(ポイント)				
	科目終了試験	学修のポイント・1 人を理解するための総合的な視点(バイオ・サイコ・ソーシャル)について 学修のポイント・3 グループワークの展開過程とソーシャルワーカーの働きについて 学修のポイント・6 ネットワーキングについて		科目終了試験12月 19日(木)実施予定	
期末試験・スクーリング終了試験	詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション、ケースワークの展開過程				
2	グループワークの展開過程				
3	コミュニティワークの展開過程				
4	展開過程に係る技術・知識				
5	各展開過程の共通点と相違点、清書レポート作成①				
6	清書レポート作成②				
7	学修のポイント・1 人を理解するための総合的な視点(バイオ・サイコ・ソーシャル)について				
8	1250字レポート作成&締切				
9	学修のポイント・2 グループワークの展開過程とソーシャルワーカーの働きについて				
10	1250字レポート作成&締切				
11	学修のポイント・6 ネットワーキングについて				
12	1250字レポート作成&締切				
13	確定的展開と予測的展開				
14	科目終了試験対策				
15	「ソーシャルワーク演習Ⅲ(3232)」科目終了試験(持ち込み不可)				
	期末試験				
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。欠席1回は-10点、遅刻1回は-3点			
	期末試験	50点 論述式、持ち込み可			
	授業内評価	20点 レポート・1250字レポートの提出状況・内容、授業態度を考慮して評価する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回るとことになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

公的扶助論(2043)		遠藤修正		併修科目・必修		
				PT2年・OT2年		
				火曜2限		
授業のねらい	この科目では、社会保障制度において「救貧」を担う公的扶助制度に関する基礎知識を体系的に学修する。具体的には、公的扶助制度の歴史的経緯などを学ぶとともに、わが国における公的扶助制度としての生活保護制度の目的、原理、原則、実施体制、制度運用の現状と問題点、被保護者の権利及び義務に加え、近年の公的扶助制度に関する動向や課題などについて学修する。					
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。					
設 題	レポート1 (ポイント)	生活保護の基本原理の一つである補足性の原理について述べなさい。 生活保護法の該当部分の条文を踏まえ、保護の要件とされることと、保護に優先されることを中心に、現状の制度の問題点とともに論じること。	清書	11月21日		
	科目終了試験	2. 生活保護制度の2つの目的について 生活保護法第1条では、生活保護の目的について示されている。「最低限度の生活」や「自立」について深く考察した上で書くこと。「自立」については、テキスト第7章第3節(貧困に対する支援の実際)の記述も参考にすること。 3. 生活扶助基準の構成について 生活扶助基準は、第1類費、第2類費、加算などから構成されている。全体像を把握した上でまとめること。 6. 生活困窮者自立支援制度について 法の対象とする「生活困窮者」とはどのような者か、制度の実施体制、各事業の内容を中心にまとめること。		12月12日受験予定		
	期末試験・スクーリング終了試験	詳細は、後日発表				
1	ガイダンス、「公的扶助の概念」					
2	貧困の概念、貧困状態にある人の生活実態と取り巻く社会環境					
3	レポート1対策「生活保護制度」①					
4	レポート1対策「生活保護制度」②、清書レポート作成					
5	科目終了試験1の対策					
6	科目終了試験1の1,200字レポート作成					
7	科目終了試験2の対策					
8	科目終了試験2の1,200字レポート作成					
9	科目終了試験3の対策					
10	科目終了試験3の1,200字レポート作成					
11	生活福祉資金貸付制度、低所得者対策					
12	DVD視聴 ①若者編 ②生活保護世帯の子ども編					
13	生活保護世帯の子どもへの対策支援ディカッション					
14	まとめ「科目終了試験」受験対策 ※レポート3本返却					
15	科目終了試験					
	期末試験					
成績評価	出席率	30点 80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。				
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式				
	授業内評価	20点 レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。				
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。					
	レポート・学習のポイントのメッチは厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることであれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	病理学	授業形態	【講義】・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	火曜・3限
担当教員	戎 弘志				
授業概要	医療の現場で実践的に役立つ広範囲でかつ正しい知識を習得する。個々に異なる患者への適正な対応ができるように学習する。総論として病理学の基本を理解し、各論として臓器別の病理を学ぶ。小テストにより、それまでの理解を確認しながら進めていく。				
学習目標	第一は国家試験に合格することを目的として、正しく幅広い知識を持つこと、第二は将来の自分の職業を全うするための基礎知識を積む。具体的には創傷治癒、炎症の原因や仲介物質、感染症をおこす病原体の種類や感染経路や免疫システムとアレルギー、自己免疫疾患などの免疫異常、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いや悪性腫瘍のそれぞれの臓器での特徴などの知識を得て、循環器疾患、脳血管疾患を始めとする生活習慣病も考えながら、形態学である病理学全般を説明できるようになる。				
回数				担当教員	
1回目	先天異常と遺伝子異常	総論：病気の原因、遺伝性疾患と診断		戎 弘志	
2回目	代謝異常の病態	総論：代謝異常(細胞損傷、代謝異常と疾患)		戎 弘志	
3回目	循環器の構造と機能	総論：循環障害(局所と全身の循環障害)		戎 弘志	
4回目	炎症と免疫のシステム	総論：炎症、免疫、アレルギー		戎 弘志	
5回目	理解の確認 病理学総論(時間内にディスカッションにて正答し提出)			戎 弘志	
6回目	感染症の病態	総論：感染症(病原体と感染症)		戎 弘志	
7回目	腫瘍の病理と老化の病理総論：腫瘍(悪性腫瘍の発生、転移)、老化			戎 弘志	
8回目	循環器系の病態	各論：循環器系(先天性と虚血性心疾患)		戎 弘志	
9回目	呼吸器系の病態	各論：呼吸器系(気管、気管支、肺の疾患)		戎 弘志	
10回目	理解の確認 病理学総論及び各論(時間内にディスカッションにて正答し提出)			戎 弘志	
11回目	消化器系の病態	各論：消化器系(胃腸、肝・胆・膵の疾患)		戎 弘志	
12回目	泌尿器、生殖器系、内分泌の病態(役割と疾患)	各論：腎・泌尿器・生殖器系(炎症と癌)と内分泌		戎 弘志	
13回目	神経系の病態	各論：脳、神経系(脳、神経の循環障害と癌)		戎 弘志	
14回目	運動器、感覚器の病態	各論：骨、関節、筋肉(運動器)・感覚器(視覚等)の疾患		戎 弘志	
15回目	理解の確認 病理学総論(時間内にディスカッションにて正答し提出)			戎 弘志	
教科書及び参考書	わかりやすい病理学：南江堂				
成績評価	出席(遅刻・欠席減点)5%、小テスト15%、積極的授業参加態度10%、試験70%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>病理学は解剖生理学、微生物学、腫瘍学、栄養代謝学などの他、多くの専門分野と接点をもつ「医学の雑学」にも相当する、古くから常に新しい学問である。将来の専門職には必ず役立つ学科である。授業は原則として教科書に基づき進行するが、必要に応じて基礎医学的なプリントを配布し、重要事項についての補強対策とする。また、関連設題についての小論文の提出を求めることもある。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	老年学(薬理学)	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	水曜・2限
担当教員	戸茆彰史、石田敦子				
授業概要	薬物による引き起こされる生体反応を利用して薬物は医療に応用されている。この生体と薬物の相互作用を学び、具体的な薬物療法を学び、さらに薬物の安全使用に留意すべき点についても学ぶ。 老年期の運動機能、認知機能の特徴を学び、機能低下による症状とその評価・治療について学ぶ。				
学習目標	①薬物療法、②薬理作用、③薬物の作用機序、④薬物の投与方法、⑤薬物の体内動態などの基本的事項を踏まえて、⑥運動系・痛覚系、⑦中枢神経系、⑧呼吸・循環器・消化器系に対する主な薬物療法、および、⑨薬物の副作用、⑩その有害事象について概略を説明できる。 サルコペニアやフレイルの特性について理解し、運動療法の効果について説明することができる。				
回数					担当教員
1回目	薬物療法と医療における薬物(薬物療法・医薬品とは・医薬品の開発)				戸茆彰史
2回目	薬物の生体内運命(薬物の適用経路・薬物の吸収・薬物の生体内分布・薬物代謝と排泄)				戸茆彰史
3回目	薬物の効き方(薬物作用の基本形式・薬理作用と用量・薬物の標的・受容体に働く薬物)				戸茆彰史
4回目	運動系・痛覚系に作用する薬物(パーキンソン病・筋無力症・侵害受容性・神経障害性疼痛などの治療薬)				戸茆彰史
5回目	中枢神経系に作用する薬物(不眠症・統合失調症・神経症・うつ病・てんかん・アルツハイマー病の治療薬)				戸茆彰史
6回目	循環器・呼吸器・消化器系に作用する薬物(高血圧・心不全・不整脈・狭心症・喘息・潰瘍の治療薬)				戸茆彰史
7回目	フレイル、サルコペニア、ロコモと介護予防① 基礎知識・検査・評価				石田敦子
8回目	フレイル、サルコペニア、ロコモと介護予防② 検査・評価・治療				石田敦子
教科書及び参考書	講義プリントを配布 7・8回では地域リハビリテーション学 第2版(前期で使用したもの)を使用します。				
成績評価	定期テスト80%(第1～6回:8割、第7～8回:2割)、小テスト20%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>薬理学は生体と薬物の相互作用や医薬品としての意義を学びますが、まずは、薬理学の知識の基本を押さえて、重要ポイントを理解しましょう。授業では、みなさんが理解するのに役立つようにプリントを用意してあります。プリントは講義に先立ち予め配布しますので、予習・復習を必ず行ってください。専門用語が多く出てくる薬理学を理解するためには復習が不可欠です。成績は基本的に期末テストで判断します。また、理解度の確認のために毎回の授業終盤にて練習問題を実施する予定です。学生心得に従って、積極的に学んでください。授業は、私と皆さんの共同作業です。授業中、特別の許可なしに飲食、携帯・スマートフォン等の操作は厳禁です。電源を切って授業を受けてください。よろしくお願いします。</p> <p>第7回、8回では老化に伴う心身機能について講義を行います。老年内科などで実際に行われている検査がリハビリテーションとつながっていることを実感してほしいと思います。専門的な知識を身につけ、後期高齢者の適切な支援を行えるようにしていきます。</p>					

障害者福祉論(2023)		吉安功一		併修科目・必修		
				2年		
				PT・OT水曜3限		
授業のねらい	今日、障害者福祉の考え方は、国連の人権宣言やノーマライゼーションの理念に基づき発展してきている。本科目では、障害者福祉の理念と考え方、歴史的変遷、法体系、障害者運動の展開、障害の種類多様性とニーズの多様性など、障害者に関する基礎知識を学修する。そのうえで、単に知識として理解するのではなく、自分で考察する力(じぶんの考えをまとめ相手に伝える力)を身に着け、現場で活きる理解を深めていく。					
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。					
設 題	レポート 1	障害者の自立支援の現状と課題について述べよ			清書	12月6日(水)
	(ポイント)	日本における障害者の社会参加を支援するための法整備や施策にちて整理し(障害者総合支援法を中心に、就労支援の事例を取り入れてまとめる)、今後の障害者就労支援の課題について、医療専門職を目指す者としての視点から、自分自身の考えをまとめること。				
	科目終了試験	学修のポイント2 障害者の概念について述べよ 学修のポイント3 ノーマライゼーションの理念について述べよ 学修のポイント4 障害者福祉の法体系とサービス内容について述べよ			科目終了試験 日程 調整中	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション(シラバス等確認、成績評価について)					
2	学修のポイント2 障害者の概念について述べよ①					
3	学修のポイント2 障害者の概念について述べよ②					
4	レポート対策(障害者総合支援法①)					
5	レポート対策(障害者総合支援法②)					
6	レポート対策(障害者就労の実態①)					
7	レポート対策(障害者就労の実態②、今後の課題や取り組みについて)					
8	レポート対策(清書レポート)					
9	学修のポイント3 ノーマライゼーションの理念について述べよ①					
10	学修のポイント3 ノーマライゼーションの理念について述べよ②					
11	学修のポイント4 障害者福祉の法体系とサービス内容について述べよ①					
12	学修のポイント4 障害者福祉の法体系とサービス内容について述べよ②					
13	障害者と家族等の支援に対する支援の実際					
14	科目終了及び期末試験対策					
15	科目終了試験					
期末試験						
成績 評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点	提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。					
	レポート・学習のポイントの厳守は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	神経内科学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	水曜・4限
担当教員	武上泰光				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系を形づくる大脳、小脳、基底核、視床、視床下部、脊髄、といった重要な解剖用語を抑えておこう。 ・神経系の機能(運動、感覚、小脳系、錐体外路系、自律神経系、等)について理解しよう。 ・神経系の機能に障害があるとどんな症状が起きるかを理解しよう。 ・どんな障害が起き、リハビリテーションがどのようにかかわっているかについて考えてみよう。 ・整形外科とともに神経内科的知識はリハビリを行なっていくのに重要であると思います。リハビリの歴史についても考えてみよう。 				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事項(解剖、機能等について)を理解し説明できる。 ・リハビリをめぐる歴史的な流れ(特にWHOのICIDH、ICF)を理解し説明できる。 ・神経内科疾患のリハビリを行なうにあたって、患者さんの障害を理解できるようにする。 				
回数					担当教員
1回目	神経系の解剖と機能:神経系の構成、構造、機能など。				武上 泰光
2回目	神経学的診断と評価:検査法、先天疾患。				武上 泰光
3回目	神経症候学①:意識障害、頭痛、めまい、など。				武上 泰光
4回目	神経症候学②:運動麻痺、錐体路徴候、錐体外路徴候など。				武上 泰光
5回目	神経症候学③:運動失調。				武上 泰光
6回目	神経症候学④:感覚障害、高次脳機能障害 ;練習問題1				武上 泰光
7回目	神経症候学⑤:構音、嚥下障害 ;中間テスト1				武上 泰光
8回目	神経症候学⑥:脳神経外科領域の疾患。				武上 泰光
9回目	脳血管障害:脳梗塞、脳出血など。				武上 泰光
10回目	認知症:認知症、アルツハイマー病など。				武上 泰光
11回目	脳腫瘍、外傷性脳損傷:脳腫瘍、外傷性脳損傷の特徴。				武上 泰光
12回目	変性疾患①:脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患。				武上 泰光
13回目	変性疾患②、筋疾患:パーキンソン病など。 ;練習問題2				武上 泰光
14回目	末梢神経障害、てんかん:末梢神経障害の分類、てんかん。 ;中間テスト2				武上 泰光
15回目	小児神経疾患など:脳性麻痺、二分脊椎。				武上 泰光
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 神経内科学/医学書院				
成績評価	中間テスト2回(20x2=40点)、期末試験60点、計100点。メッセージ欄参照。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> ・練習問題の演習とそれをもとにした中間テストを6、7回目(10/11と10/18)と13、14回目(11/29と12/6)に行ないます。それまでの講義の内容と練習問題を行なう中で説明する内容が中間テストの範囲です。練習問題と中間テストで基本事項を覚えてしまおう。 ・高齢化が進み、認知症の方が増加し、障害像が変化し、その中で医療、福祉の重要性が増してきました。 ・日本では、欧米に追随して、福祉の制度を発展させてきました。一方で、日本的な福祉を追求する傾向もあると思います。 ・そうした流れの中で、基本的な医学的知識は医療、福祉に関わるにあたっては重要であると思います。 					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	機能解剖学Ⅱ	授業形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	木曜・1限
担当教員	藤野頼貴・日比和宏・杉野潤也				
授業概要	<p>この授業では作業療法士として対象者にセレクトティブストレッチングを行えるようになる事を目標に授業を行います。作業療法の対象者は筋肉由来の問題により痛みや可動域の制限が生じやすく、その治療方法の一つとしてストレッチングがあります。</p> <p>対象者が自分自身で行うセルフストレッチングは、簡単で、わかりやすく、続けられることが基本原則となりますが、OTが行うストレッチには、対象者がそのプロの技を期待して、プロの技だからこそ得られる効果に対して対価を支払います。それらを体得するには多くの練習や解剖学・運動学・生理学の知識と結び付けて考える事が必要です。OTとして将来担当する対象者の治療に責任とプライドを持ち、その引き出しを学生時代から増やしてください。ストレッチングは本にならってその通りにやるだけではなく、筋の走行を理解したうえで、自分の体格を考慮したり、対象者の反応を意識しながら自分自身で考え、治療技術を身に付ける事が重要となります。</p>				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全身の筋走行についてイメージし、図に示すことができる ・筋の走行から、その筋肉の収縮時の作用を考慮することができる ・ストレッチ効果の基礎となる、生理学的メカニズム(I b抑制、相反抑制、反回抑制)について説明することができる ・模擬患者に対して、セレクトティブストレッチングを行うことができる 				
回数					担当教員
1回目	ストレッチングの基礎 ①P2～16				藤野・日比・杉野
2回目	僧帽筋上部線維～小胸筋 ①P18～47				藤野・日比・杉野
3回目	前鋸筋～大胸筋胸部線維 ①P48～81				藤野・日比・杉野
4回目	大胸筋腹部線維～小円筋 ①P82～115				藤野・日比・杉野
5回目	広背筋～腕橈骨筋 ①P116～141				藤野・日比・杉野
6回目	上腕三頭筋長頭～尺側手根屈筋 ①P142～170				藤野・日比・杉野
7回目	長橈側手根伸筋～尺側手根伸筋 虫様筋、背側骨間筋、掌側骨間筋①P171～183 P238～				藤野・日比・杉野
8回目	実技試験(上肢のストレッチング)				藤野・日比・杉野
9回目	腸腰筋～梨状筋 ②P6～35				藤野・日比・杉野
10回目	大腿方形筋～大内転筋 ②P36～62				藤野・日比・杉野
11回目	薄筋～大腿二頭筋短頭 ②P63～98				藤野・日比・杉野
12回目	大腿直筋～長趾伸筋 ②P102～129				藤野・日比・杉野
13回目	長母趾伸筋～第三腓骨筋 ②P130～171				藤野・日比・杉野
14回目	体幹に関わる筋 ②P191～				藤野・日比・杉野
15回目	実技試験(下肢のストレッチング)				藤野・日比・杉野
教科書及び参考書	<p>①セラピストのための機能解剖学的ストレッチング 上肢</p> <p>②セラピストのための機能解剖学的ストレッチング 下肢・体幹</p>				
成績評価	実技試験50%(25×2回) 期末試験50% ※授業態度、出席状況も成績評価に含みます				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>プロフェッショナルとしての知識、技術を身に付けてください。その為には作業療法士として対象者に貢献したいという気持ちが最も重要です。即戦力となるように指導していきます。</p> <p>【実技練習について】</p> <p>基本的に学生同士で協力し練習を行って下さい。練習中に生まれた不明点を確認したり、試験前に模擬テスト受講を希望する場合には、教科担当学生を通じて教員にアポイントメントを取り、その機会に多くの学生が参加して更なる技術向上が出来るように準備してください。</p> <p>【服装について】</p> <p>受講時には筋の走行が視診や触診で確認しやすいような服装や、動きやすい服装で参加して下さい。</p>					

保健医療(3323)		大兼健寛		併修科目・必修	
				PT・OT2年	
				木曜2限	
授業のねらい	疾病構造の変化や人口の高齢化、医療施設から在宅医療への流れが進んでいる現在、保健医療に係る政策や制度はより現状に即したものに変わっていく必要がある。本科目では、医療保険制度の概要と医療制度に関する政策動向、保健医療に係る各専門職の役割や多職種連携についての基本的な理解を深めるとともに、保健医療の課題を持つ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解してもらう。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	保健医療サービスの変化と社会福祉士の役割、医療と介護の連携について述べよ。	清書	11月10日(木)授業内	
	(ポイント)	保健医療サービスの変遷を疾病構造の変化、医療法の改正、患者の権利の視点から考察し、保健医療サービスにおける社会福祉士の役割について論じる。また、医療と介護の連携をテキストのみでなく、広く最新の情報から考察すること。			
	レポート 2		清書		
	(ポイント)				
	科目終了試験	学修のポイント・1 医療ソーシャルワーカーの業務内容について 学修のポイント・2 患者の権利とインフォームド・コンセントの意義について 学修のポイント・5 医師・保健師・看護師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーの役割と連携について			科目終了試験 12月19日(火)実施予定
期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション、保健医療分野から見る現在の日本の状況(人口と少子高齢化など)				
2	保健医療サービスの変遷①				
3	保健医療サービスの変遷②				
4	患者の権利とソーシャルワーカーの役割				
5	医療と介護の連携について、清書レポート作成①				
6	清書レポート作成②				
7	学修のポイント・1 医療ソーシャルワーカーの業務内容について				
8	1250字レポート作成&締切				
9	学修のポイント・2 患者の権利とインフォームド・コンセントの意義について				
10	1250字レポート作成&締切				
11	学修のポイント・5 医師・保健師・看護師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーの役割と連携について				
12	1250字レポート作成&締切				
13	東洋における「保健医療」概念の源流、東洋医学の基礎講座				
14	科目終了試験対策				
15	「保健医療(3323)」科目終了試験(持ち込み不可)				
	期末試験				
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。欠席1回は-10点、遅刻1回は-3点			
	期末試験	50点 論述式、持込み:可			
	授業内評価	20点 レポート・1250字レポートの提出状況・内容、授業態度を考慮して評価する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントのメッチは厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回るとことになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	H・R	学科・年次	OT・2年
		曜日・時限	木曜・3限
担当教員	伊藤 大貴		
授業概要	学校生活を円滑にすること、コミュニケーション能力を身につけることを目的に、学生心得を用いた読み合わせや他学科、他学年との学園祭などを行う。また、臨床実習、国家試験にて必要な基礎医学や臨床医学の知識を身につける。		
学習目標	① 「学生心得」に従って、充実した学校生活を送ることができる。 ② 作業療法士を目指すクラスの一員として、責任を持った行動ができる。 ③ 国家試験や臨床で必要となる基礎医学に対する知識を身に付ける。		
回数		担当教員	
1回目	オリエンテーション(2年次後期の流れ、目標確認) 役割決め		伊藤大貴
2回目	連絡事項 確認事項 個別面談①		伊藤大貴
3回目	始業式 個別面談②		伊藤大貴
4回目	連絡事項 確認事項 個別面談③		伊藤大貴
5回目	連絡事項 確認事項 授業にあたっての状況把握		伊藤大貴
6回目	国家試験対策授業(基礎医学)①		伊藤大貴
7回目	国家試験対策授業(基礎医学)②		伊藤大貴
8回目	国家試験対策授業(基礎医学)③		伊藤大貴
9回目	国家試験対策授業(基礎医学)④		伊藤大貴
10回目	国家試験対策授業(基礎医学)⑤		伊藤大貴
11回目	国家試験対策授業(基礎医学)⑥		伊藤大貴
12回目	国家試験対策授業(臨床医学)①		伊藤大貴
13回目	国家試験対策授業(臨床医学)②		伊藤大貴
14回目	連絡事項 確認事項 期末試験対策①		伊藤大貴
15回目	連絡事項 確認事項 期末試験対策②		伊藤大貴
教科書及び参考書	必要に応じて「学生心得」、学事予定など。適宜、指示に従うこと。 国家試験対策授業:PT・OT基礎固めヒント式トレーニング(基礎医学/臨床医学)/南江堂		
成績評価			
学生へのメッセージ(受講上の留意点)			
学校生活を支障なく送れるということは、学業についてもきちんと知識をつける準備ができているということです。そのため、個別面談を通し、学校生活に加え学業面の状況把握を行い、全員が躓くことなく国家試験合格を目指せるよう対応します。 国家試験対策授業では、1年次に学んだ基礎医学(解剖・運動・生理)や、臨床医学(リハビリテーション医学・臨床心理学など)を中心にテキストを用いて対策していきます。早めに対策をしていくことで、4年次に備えたスタートダッシュに繋がりますし、臨床実習での基礎知識不足に対する対策にもなります。授業前後にて範囲を指定していきますので、予習・復習をおこない知識として定着するように行動していきましょう。			

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業療法評価法Ⅰ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	金曜・1限
担当教員	伊藤 大貴				
授業概要	高次脳機能とは、その人らしい生活を送るうえで重要な機能です。脳血管疾患により生じる高次脳機能障害は、動作獲得をするうえで大きな障害因子となりやすく、適切に評価し介入することが患者様の予後に大きく関わります。また、臨床実習において関わることが多い障害です。そのため、①各症状に対して理解をすること、②適切に評価すること、③障害に合わせた介入が提案できるようになることが、OTとして必要な能力です。この授業を通して、それらを習得できるようにしていきます。				
学習目標	①高次脳機能障害とは何か自身の言葉で説明できる。 ②各障害の症状を簡単に説明できる。 ③各障害に対する評価法を適切に選択し、実践できる。 ④各障害に対する治療方法を提案できる。				
回数					担当教員
1回目	高次脳機能障害とは 総論 多職種連携と作業療法士の役割について P3-14、P26-43				伊藤 大貴
2回目	注意障害の概要と評価(実技)について P47-52				伊藤 大貴
3回目	注意障害の治療の原則と治療方法 P52-55 P174-182				伊藤 大貴
4回目	記憶障害の概要(定義と分類、メカニズムについて) P56-59				伊藤 大貴
5回目	記憶障害の評価(実技)と治療の原則について P60-65 P184-191				伊藤 大貴
6回目	失語の概要と評価方法、治療方法について P68-80 194-201				伊藤 大貴
7回目	失行の定義と分類について P81-86				伊藤 大貴
8回目	失行の評価技法と治療原則について P87-95 P204-210				伊藤 大貴
9回目	失認(対象認知の障害)の定義と分類 P97-102		※単元テスト		伊藤 大貴
10回目	失認の評価と治療原則について P102-110 P213-222				伊藤 大貴
11回目	半側空間無視の定義、評価方法について P112-118				伊藤 大貴
12回目	半側空間無視の評価(実技)と治療原則について P118-127 P223-240				伊藤 大貴
13回目	遂行機能障害の定義、評価(実技)、治療原則について P128-140 P242-248				伊藤 大貴
14回目	社会的行動障害の定義、評価、治療原則について P142-153 P249-255				伊藤 大貴
15回目	高次脳機能障害者の運転支援について・まとめ P293-305				伊藤 大貴
教科書及び参考書	標準作業療法学 高次脳機能作業療法学(第2版)/医学書院 高次脳機能障害作業療法学(第2版)/メジカルビュー社 適宜、プリント等を配布する。				
成績評価	単元テスト 40% 期末テスト 60% 欠席3点、遅刻は1点減点とします				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>単元テストは1回目～8回目の授業内容を出題します。期末テストは全範囲ですが、出題するのは授業内でキーワードとして伝えた部分を中心に出題する予定です。</p> <p>高次脳機能障害は理解しにくいことも多いと思います。シラバスで指定した範囲を事前に読み、予習をすることを推奨します。また、復習をしても理解が難しい時には、授業内だけでなく、授業外でも質問や相談をしてください。分からないことをそのままにすると、次々と新しい障害に触れることになり、混濁しやすいです。</p> <p>ファイルを事前に準備してください。授業内で配布する評価用紙や参考資料は実習に向けてファイリングしていき、すぐに使用できるように準備しておきましょう。理解を深め、OTとして自信をもって患者様に対応できるように備えていきましょう。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

	人間発達学	授業 形態	講義 演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	金曜・2限
担当教員	杉野 潤也				
授業概要	<p>当たり前前に歩行でき、箸を使って食べ、友人とお喋りしている私たちですが、それらが可能となるまでには様々な機能の発達が関わりあっています。どのようなことが関わりあって人は発達していくのかについて学んでいきましょう。あらためて各発達段階におけるステージを通して人を考える機会になる授業です。</p>				
学習目標	<p>1. 人間の各機能(身体、運動、認知、言語、社会性)がどのように発達していくのかを説明できる 2. 各ライフステージにおける機能面、活動面の特徴が説明できる</p>				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション、人間発達学の基礎 P1～18				杉野 潤也
2回目	胎生期の発達 P19～37				杉野 潤也
3回目	運動の発達① P38～61				杉野 潤也
4回目	運動の発達② P38～61				杉野 潤也
5回目	運動の発達③ P38～61				杉野 潤也
6回目	認知能力の発達 P62～89、確認テスト①(P38～61)				杉野 潤也
7回目	社会性の発達 P90～123				杉野 潤也
8回目	情動・愛着の発達 P124～139				杉野 潤也
9回目	言語の発達 P140～175				杉野 潤也
10回目	摂食嚥下の発達 P176～197				杉野 潤也
11回目	遊び・生活能力の発達 P198～211				杉野 潤也
12回目	道徳性の発達 P212～229				杉野 潤也
13回目	家族関係の発達 P230～243				杉野 潤也
14回目	発達の評価 P244～262 確認テスト②(P90～243)				杉野 潤也
15回目	総合的理解 P263～271 学習のまとめ				杉野 潤也
教科書及び 参考書	人間発達学、浅野大喜編、メジカルビュー社				
成績評価	期末テスト70%、確認テスト①②30%、欠席1回-3点、遅刻1回-1点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>人間発達を理解することは、人間への理解を深めることにつながります。また、今後に学習予定の作業療法の治療学を学ぶ際にも役立ちます。各時期の発達は覚えるのが大変ですが、各機能の発達を有機的に関連づけながら覚えていきましょう。授業は確認テストを行い、段階的に学習理解が深められるような構成を取っております。毎回の復習も取り入れながら、しっかり学べるようにしていく予定です。授業中の発言は積極的に行っていきましょう。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	小児科学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	金曜・4限
担当教員	磯村 毅				
授業概要	理学療法士・作業療法士としてチーム医療を担う基礎となる小児科学について学ぶ。 小児の発達から主要臓器および分野を網羅的に学ぶ。 小児期は人間の土台を形成する時期であり、その後の人生を文字通り左右する大切な期間であり深く正確な理解が大切である。				
学習目標	チーム医療の一員として役割を担える基礎学力の獲得 医療機関では多職種が情報交換しながら仕事をすすめるが、その共通言語として、病名をはじめとする多数の専門用語が用いられる。こうした基礎知識なしにはチームの一員として適切に機能することは困難であるばかりか、様々な行き違いが起こり医療事故にもつながりかねない。 しかし、子どもを対象とする場合に、小児科で扱う基本的な事項を身につければ、それだけでもチームから信頼されるきっかけとなる。				
回数				担当教員	
1回目	小児科総論 (p1-99)			磯村毅	
2回目	新生児・先天異常・消化器疾患 (p102-215)			磯村毅	
3回目	腫瘍・循環器・代謝・内分泌疾患 (p216-355)			磯村毅	
4回目	腎・泌尿器・生殖器・免疫・アレルギー・膠原病 (p356-453)			磯村毅	
5回目	血液・造血器・感染症 (p454-554)			磯村毅	
6回目	呼吸器・神経・精神・骨・関節疾患 (p555-681)			磯村毅	
7回目	まとめ			磯村毅	
教科書及び参考書	「病気が見える vol15 小児科」/MEDIC MEDIA				
成績評価	テスト60%、レポート40%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>予習復習をしっかりとすること。いろんなことに興味を持ち、積極的に学ぶこと。 私個人を振り返っても、若い時代の1日1日は、本当に貴重であった。良い意味でも悪い意味でも、本当にそうである。 諸君は、幸い、目指す目標が明確で社会貢献の方法も分かり易い分野を学ぶ学生である。 脳は25歳まで、成長を続けるという。諸君らはもはや一人前、これ以上成長の余地は乏しいと感じているかもしれないが(私もそうであった)、今から思うと、その後の伸びしろはまだまだ大きなものがあった。特に、コミュニケーション能力や、人格的な部分はこれからである。そう考えて、課題図書なども選んでみた。 大いに、泣いて笑って、青春を謳歌していただきたい。それらすべてが、職業人としての諸君らの血となり肉となるであろうから。応援している。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	見学実習事前・事後指導Ⅱ	授業形態	講義・演習 (実習)	学科・年次	OT・2年
担当教員	中村 千紘・藤野 頼貴・杉野 潤也・伊藤 大貴				
授業概要	見学実習では、実習生としての身だしなみと謙虚な姿勢で実習を行なえること、実習施設の規則を守ることと環境整備に努めることができること、社会人として時間厳守と報告・連絡・相談を適時行えること、提出物等の遅れがないこと、文献などを活用して知識の向上に努められること、対象者の障害を理解してコミュニケーションが取れること、作業療法士の役割が理解できることが求められます。有意義な実習となるよう事前準備及び、終了後実習報告会にて振り返りを行います。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・見学実習において必要となる、基本的な介助方法や患者様との接し方などの実技能力を身につける ・2年次に学んだ評価を行う事が出来る ・作業療法士として相応しい対応を、対象者及び実習指導者に対して行う為の準備ができる ・学んだ事についてデイリーノートなどを用いて表出し、スーパーバイザーに提出する模擬練習ができる。 				
回数		担当教員			
1回目	学生紹介表の作成・社会的交流技能の説明	中村、藤野、杉野、伊藤			
2回目	実習想定場面での面接・観察と病態予測について	中村、藤野、杉野、伊藤			
3回目	療法士面接・バイタル測定 ①P120～128 P140～171	中村、藤野、杉野、伊藤			
4回目	関節可動域測定 ①P172～193	中村、藤野、杉野、伊藤			
5回目	筋力測定 ①P194～226	中村、藤野、杉野、伊藤			
6回目	形態計測 ①P227～241	中村、藤野、杉野、伊藤			
7回目	感覚検査 反射検査 立位バランスの評価 ①P275～301 P370	中村、藤野、杉野、伊藤			
8回目	脳卒中の麻痺側運動機能の評価 運動失調検査 ①P312～330 P356～369	中村、藤野、杉野、伊藤			
9回目	移乗介助 ①P93～117	中村、藤野、杉野、伊藤			
10回目	OSCE(実技テスト)1	中村、藤野、杉野、伊藤			
11回目	OSCE(実技テスト)2	中村、藤野、杉野、伊藤			
12回目	電話連絡の方法、文献の調べ方について ②P98～103	中村、藤野、杉野、伊藤			
13回目	作業観察の視点と、デイリーノートの記載方法(ADL・リハビリ・レク場面) ②P64～97	中村、藤野、杉野、伊藤			
14回目	身体障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	中村、藤野、杉野、伊藤			
15回目	老年期障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	中村、藤野、杉野、伊藤			
16回目	精神障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	中村、藤野、杉野、伊藤			
17回目	お礼状の作成 ②P106～107	中村、藤野、杉野、伊藤			
18回目	実習報告会1	中村、藤野、杉野、伊藤			
19回目	実習報告会2	中村、藤野、杉野、伊藤			
20回目	実習報告会3	中村、藤野、杉野、伊藤			
教科書及び参考書	①PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版 金原出版株式会社 ②これで解決PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド 株式会社金芳堂				
成績評価	OSCE(50%) 社会的交流技能(30%) 実習報告会(20%) 欠席は3点、遅刻は1点減点 OSCEでは、対象者を観て挨拶やコミュニケーション、面接、バイタル測定を実施し、どのような病態か、何を困っているのか、それらを明らかにするにはどのような評価を選択すればよいか検討し実施できるかをテストします。OSCEが不合格の場合は再試験をおこないます。 社会的交流技能では実習にいくための基本的な態度が備わっているかを教員が評価します。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
授業内にて臨床実習で役立つプリントを配布します。ファイルを準備し、実習中に使用できるよう適宜ファイリングしてください。 授業内だけでなく、授業外の学習も重要となります。実技に関しては授業前後に実技室を使用し友達同士はもちろん、教員にアポイントメントを取り、積極的に練習してください。また、自身の分野に関する事前学習課題を各自に提示します。 臨床実習は1年間の学びを実際の対象者を通して再度学びなおしたり、授業で別々に学んだ知識を対象者を通して統合していく、非常に深い学びの時間となります。その時間を有意義なものとするために、しっかりと準備して前提知識を蓄える事が大切です。前提知識を十分に蓄えることで、バイザーから質問をされた場合にも返答することができるようになり、それらの知識を応用するおもしろさに気づけます。しっかりと準備をして臨みましょう。					